

目 次

はしがき	経済学部長 芦田 昌也
『石炭問題』におけるジェヴォンズの経済思想と経済政策 ——ジェヴォンズの経済政策思想に関する断片的な考察——	阿部秀二郎 (1)
人々の移動と新型コロナウイルス感染者の都市的連鎖に関する一考察	足立 基浩 (15)
シラバスから生成された科目ネットワークの分析	芦田 昌也 (27)
20世紀初頭のコリマ・ユカギール民話の文体について	遠藤 史 (41)
混沌の中のコンセンサス ——「労働者のための通商政策」とはなにか——	藤木 剛康 (55)
健康概念としてのウェルビーイングを再考する	藤永 博 (67)
木蠟・ハゼ実生産に関するおぼえがき	藤田 和史 (79)
公認会計士における職業意識とジェンダーによる差異に関する実態調査 ——テキストマイニングを用いた探索的検討——	藤原 靖也 (95)
就職活動 10 年の変化 ——和歌山大学経済学部生就職活動アンケート 2010～2020 年度調査に基づく比較から——	本庄麻美子 (103)

ケアの倫理の観点からみる社会福祉法政策への適用可能性 ——改正生活困窮者自立支援法における家計改善支援事業を手掛かりに——	金川めぐみ	(115)
中国 2017 年供給使用表の表章形式に関する考察	金澤 孝彰	(131)
19 世紀のラテン・マネタリー・ユニオンと現代の通貨同盟	片桐 謙	(159)
鉄道騒音により利用価値が著しく低下している宅地の評価上の減額 ——国税不服審判所令和 2 年 6 月 2 日裁決の検討を中心に——	片山 直子	(183)
Some Perspectives on the Shifting Dynamics of Economic Systems and the Changing Role of Faculties of Economics	Nabil El Maghrebi	(197)
システム思考とフレームワーク	牧野 真也	(225)
人権問題の諸相 ——人権ゼミナールの端緒として——	森口 佳樹	(237)
戦前期日本の実業社会での処世術	長廣 利崇	(249)
貿易自由化と発展途上国の輸出財高度化 ——財の複雑性指数を用いた実証分析——	岡部 美砂	(259)

2000年代以降の公務員制度改革 ——制度分析の観点からみた意義——	岡田真理子	(279)
研究開発マネジメントに関する考察	岡橋 充明	(287)
マルクス労働価値論の基本的前提	大澤 健	(309)
小学校統廃合の規定要因 ——和歌山県を事例とした予備的考察——	齊藤 仁	(327)
COVID-19のロシアにおける影響と会計に関わる問題	齊藤久美子	(339)
賀茂別雷神社文書 延徳年間における土田庄公用銭算用状研究にむけて ——未翻刻史料の紹介——	三光寺由実子	(345)
シュタインマンの企業倫理論とマネジメント教育	高見 直樹	(357)
Newman's Own モノグラフィー	高岡 伸行	(373)
ハンガリーの銀行部門の所有構造の変化 ——30年間の動向——	高田 公	(391)
エネルギー市場はCOPに踊らされているか？	竹内 哲治	(403)

康熙帝と熊賜履	滝野 邦雄 (419)
和歌山市 BRT 構想の需要予測	辻本 勝久 (439)
祭りや伝統行事等の地域活動への参加がもたらす個人の幸福度への影響に関する一考察	上野 美咲 (453)
ファイナンス・リース取引の測定に関する実証的研究	山田 恵一 (467)
法学教育と裁判員	吉田 雅章 (479)